

**製品名: ApoL2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07045**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	37kDa

**抗原情報**

遺伝子名	APOL2
別名	APOL2; Apolipoprotein L2; Apolipoprotein L-II; ApoL-II
遺伝子 ID	23780.0
SwissProt ID	Q9BQE5
免疫原	抗血清はヒト APOL2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 191-240

**背景**

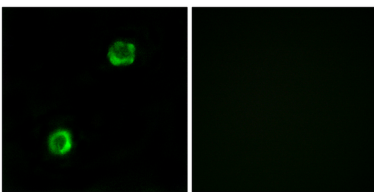
この遺伝子はアポリポプロテイン L 遺伝子ファミリーのメンバーです。コードされているタンパク質は細胞質に存在し、脂質の移動に影響を与えたり、脂質と細胞小器官の結合を可能にしたりする可能性があります。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 2

つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: 細胞質における脂質の移動に影響を与えたり、脂質と細胞小器官の結合を可能にしたりする可能性があります。類似性: アポリポタンパク質ファミリーに属します。組織特異性: 広く発現しており、肺、胸腺、膵臓、胎盤、成人の脳、前立腺で最も高いレベルで発現しています。また、脾臓、肝臓、腎臓、結腸、小腸、子宮、脊髄、副腎、唾液腺、気管、乳腺、骨格筋、精巣、胎児の脳と肝臓にも検出されます。、

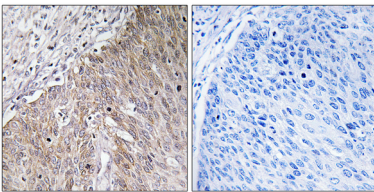
## 研究分野

-

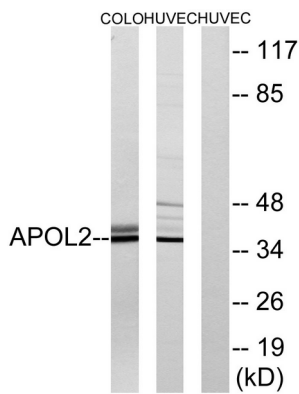
## 画像データ



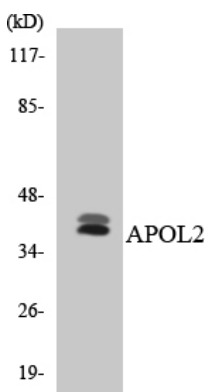
APOL2 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



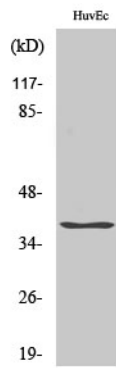
APOL2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



APOL2 抗体を用いた HUVEC および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



APOL2 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ApoL2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析